清陽会だより

―発行元―
〒869-1107
菊池郡菊陽町
辛川1929番地
社会福祉法人
清陽会
TEL 232-1188

新年のあいさつ

社会福祉法人 清陽会
理事長 永井 正幸

新年あけましておめでとうございます。

ご利用者の皆様には穏やかに新しい年を迎えられたものと大変嬉しく思います。

昨年は、新型コロナが猛威を振るい、一昨年に引き続き「コロナに始まり、コロナに終わった一年」だったと思います。

一昨年の二月下旬から、ご家族の皆様の面会をお断りしなければならない状況となり、その後、長らくスマートフォンやタブレットを利用したオンライン面会を実施して参りました。

そして昨年九月以降、新規感染が殆ど見られなくなったこと等から、十一月末より対面による面会を再開することができました。

しかしながら、十二月中旬以降、新たな変異株（オミクロン株）の急速な感染拡大が懸念されたこと等から、再び窓越し面会やオンライン面会へと変更を余儀なくされいる状況です。

年が改まり、一日も早く、このコロナ禍が収束し、いつまでもご家族の皆様と触れ合っていただける平穏な日々が訪れることを心から願っています。

今年の干支は壬虎（みずのえとら）ですが、この壬虎は、厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージを持つと言われていますので、必ずやコロナ禍を脱却し、明るい年になるものと思います。

ご利用者並びにご家族の皆様の今後益々のご健勝を祈念申し上げます。

朝食:先付・雑煮

昼食:おせち料理
赤飯・すまし汁

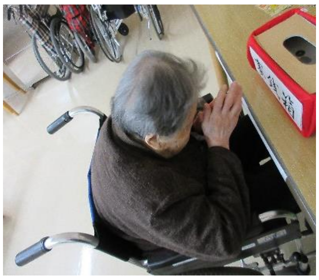
特別養護老人ホームきほう苑

年始の様子

書初め

皆さん真剣に取り組まれておられました。

初詣



年始の風物詩の初詣ですが、今年も新型コロナウィルス感染が懸念されているので自粛を行い、立田阿蘇三宮神社の参拝所をスクリーンに流し、参拝していただきました。又、絵馬所を作成しましたので、皆さん、今年の願い事を絵馬に書かれておられました。

毛糸の作品いただきました

令和3年12月6日に菊陽町社会福祉協議会ボランティアセンター様が来苑され、菊陽町の編み物ボランティア様より、毛糸による帽子、靴、レッグウォーマー、季節の飾り物等の作品をいただきました。これからも、地域の皆さんと繋がるきっかけとなればと思います。

地域密着型特別養護老人ホームきほう苑きらら

おもちつき

年末に、きほう苑の苑庭で餅つきがあり、利用者の皆様にも職員と一緒に参加していただきました。

職員が精魂込めて杵で突いている姿を目の当たりにして、次回は自分も頑張って餅を突かんとならんなあ」と感想を口にされていました。

忘年会

忘年会では、お菓子やノンアルコール飲料で楽しんでいただきました。

キュッと飲まれ、たくさんお代わりをされる方もいて、皆様とても喜ばれていらっしゃいました。

年明けには、福笑いを行いました。目隠しを外して顔の出来栄えを確認すると、「こりゃ、しまった」「こらたまがる」との声が次々と出ました。

どのお顔も愛嬌いっぱい！　年の初めから、利用者の皆様、職員とでたくさん大笑いしました。

きほう苑デイサービスセンター

デイサービスでは毎年恒例のクリスマス会や餅つきを利用者様と楽しみました。クリスマス会では楽器の演奏や、クリスマスの小物入れを皆さんで作りました♪

クリスマス会

お正月準備

餅つきでは、昔を思い出し思い出話に花が咲きました♪

毎年恒例のもちつき

きほう苑居宅介護支援事業所

要介護認定について

　要介護認定には、訪問による聞き取り調査と、「主治医の意見書」が必要になります。「足腰が弱くなり転倒を繰り返している」場合は、これが介護認定の申請のきっかけです。**申請のきっかけとなる怪我や病気で診察をされた担当医を主治医にする方法があります。**この場合は、担当の整形外科の医師がふさわしいと思います。

　日頃、かかりつけの病院があれば、主治医に確認してください。

　このようなことで迷われた方は、ご相談ください。

問い合わせ先
菊池郡菊陽町辛川一九二九
きほう苑居宅介護支援事業所
介護支援専門員　大塚眞一郎